

地域創生メディア特論

2 units (selection) 1st-year(2nd semester), 2nd-year(2nd semester)

Yoshio Kashida · ASSOCIATE PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES, Hidekazu Kakei · ASSOCIATE PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Takamitsu Kawarasaki · ASSOCIATE PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Target) 技術主導ではなく人間主体のメディアとは、どのようにあるべきかを技術的側面、文化的側面、社会的側面から探求する。

Outline) 1. コミュニケーションにおける文脈の重要性を確認し、CSCW(コンピューターに支援された共同作業)の現況を考察する。2. ヒトが感じるリアリティがどのように構築され得るのかを考察し、VR(バーチャルリアリティ)の潜在的可能性について探る。3. アートの歴史に於けるメディアの役割を概観し、現代芸術の中でのメディアの位置付けを考察する。

Keyword) *media environment*, エスノメソドロジー, CSCW

Notice) この授業は隔年開講科目である。23年度,25年度は開講せず。

Goal) メディアについて多角的に、批判的に評価できるようになる。

Schedule)

1. ガイダンス
2. 実践的エスノメソドロジー入門
3. ビデオエスノグラフィーとは何か
4. 会話の分析＝重なり・沈黙・呼応＝
5. 社会的なものとしてのコミュニケーション
6. バーチャルリアリティと仮想現実
7. バーチャルリアリティのリアリティ
8. バーチャルリアリティを構築する技術
9. バーチャルリアリティの適用事例
10. バーチャルリアリティの可能性
11. テクノロジーとアート1 芸術に向かって
12. テクノロジーとアート2 技術に向かって
13. 表象表現とメディア1 メディアについての表現
14. 表象表現とメディア2 ニューメディアを使用した表現
15. 総括
16. 試験

Evaluation Criteria) 授業貢献および試験

Re-evaluation) 実施せず。

Textbook)

- ◇ 山崎 敬一編 2004 『実践エスノメソドロジー入門』有斐閣

- ◇ 好井 裕明・串田 秀也編 『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』世界思想社 2010

Reference) 授業において適宜指示

Webpage) <http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/social/>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218168>

Contact)

⇒ Kakei (マルチメディア B 棟 206, +81-88-656-7166, kakei@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜5・6, 榎田は火曜日14:00-15:00SVBL棟3階プロジェクト研究室)

Note)

- ◇ (榎田のオフィスアワーは) 火曜日 14時～15時の予定 (面談申込書あり, 榎田研ドアに掲出)
- ◇ ★12月4日(土) 午後に, ユニバーサルデザイン映画会を, 本講義の一部として実施. 受講生はこの日の予定を空けておくこと.